

## 2021年度受賞者の受賞コメント

この度は、京都大学久能賞という名誉ある賞を頂戴し、大変光栄に思います。久能悠子様、そして選考に携わってくださった全ての方に御礼申し上げます。

私が興味を持っているのは、宇宙医学という分野です。この分野は、宇宙が人体に与える影響を研究し、宇宙に関わる人々の健康を守るものであり、これからさらなる盛り上がりを見せる学問です。私はその数々の知見の興味深さ、また宇宙医学に関わる人々の素晴らしさに惹かれ、いつの間にかのめり込むようになりました。日本に専門の研究室は数少なく、今までは先生方のお話を聞くために東奔西走しなければなりませんでした。学びの機会のオンライン化や京都大学宇宙ユニットの先生方に助けられ、京都にて知識を得ることができました。そして、宇宙医学の発展に貢献したい、その知見を生かして地上の人々も救いたい、さらには宇宙に行きたいと思うあらゆる人が身体の問題に妨げられることなく宇宙に行く助けになりたい、という夢を抱くに至りました。

しかし、すぐに宇宙で実験をしてデータを集めたり宇宙旅行者を診療できたりするわけではありません。そこでまずはしっかりと①今までの宇宙医学の知見を学ぶ、②現在の(地上の)医療に向き合う、そして③宇宙と地上の医療の共通課題を見つけていくことに取り組みたいと考えています。具体的に、①に関しては、英語版の宇宙医学の教科書(なんと日本語版がありません)の翻訳を通じて学び、翻訳が終了した暁には、宇宙医学を学びたい方々に共有できればと考えています。宇宙医学に関する研究活動も行う予定です。②と③に関しては、臨床実習や正課外の学びを通じ、閉鎖環境や遠隔での診療など宇宙と地上の医療の共通点をより深く知るとともに、自分がどの領域にアプローチすれば良いのかを考えていきたいと思っています。

「跳ぶように考え、這うように証明する」。大学の先輩でもある久能祐子様のこの言葉は、自分の指針の一つとなっています。宇宙に関する学問は、確かに壮大で夢があるかもしれませんが、しかしその実現のためには、地上で地道に、着実に歩まねばなりません。科学分野の女子学生という立場でいただいた賞ですが、この一年は、分野、性別、立場を問わず、あらゆる方から学び、様々な方と協力して一歩ずつ進んでいきたいと考えています。最後になりましたが、今まで関わってくださった全ての方に御礼申し上げるとともに、一層のご指導ご鞭撻をお願いし、締めくくりとさせていただきます。

医学部医学科 齊藤 良佳